番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	東つつじヶ丘	ふれあいセンター南側土地の有効活用について	当該地は、市営住宅建替事業の中止に伴う跡地の利用として、隣接する公民館や東つつじヶ丘公園があり、幹線道路沿道地として恵まれ、それを生かした施設が立地できるよう用途地域の変更をしています。これにより店舗等を建築できる規模へ緩和しております。今回の変更で店舗床面積1,500㎡以下まで建築は可能となります。今後のスケジュールとして、市民の皆さんからの意見をいただくための都市計画公聴会を8月28日に開催予定としており、8月1日から14日まで変更案の閲覧もしていただけ、ホームページでも概要を見ていただけます。その後、都市計画審議会開催、都市計画決定の手続きを進め今年度中に売却先を決定していきます。	まちづくり推進部長	①実施	市営つつじヶ丘住宅の建替事業の規模縮小によって生じた跡地の土地利用につきましては、地域の実情を踏まえた生活利便性向上のため、令和元年10月28日付けで、当該地の用途地域を「第一種中高層住居専用地域」から「第二種中高層住居専用地域」へ用途変更いたしました(建蔽率(60%)・容積率(200%)の変更はありません)。「第一種中高層住居専用地域」から、「第二種中高層住居専用地域」に用途を変更することにより、店舗等の建築について、建築可能な面積がこれまでの500㎡以下から、1,500㎡以下まで許容されます。これにより、スーパーマーケット等の生活利便施設の立地が可能となります。公有地の売却につきましては、3月中の売却に向け手続きを進めています。
2	東つつじヶ丘	ふれあいセンター南側土地の有効活用について	一昨年の地域こん談会においても話がありましたが、今後高齢者が多くなる中で、皆さんが歩いて行けるスーパー等の誘致を出来ればと考えております。売却とは言え、地元の利用を限定して入札を行いたいと考えております。また売却の予定として、1,500㎡までの建物と駐車場が整備できますので、エリア全部が売却予定となります。半分は建物、半分は駐車場になると想定しています。条件入札として、地元への協力部分もお願いをしたいと考えます。	市長 (まちづくり推進部)	②実施予定	
3	東つつじヶ丘	宮の谷川の川岸整備について	市内各所の管理河川については、河川内の樹木や雑草が繁茂の対応が追いついていないのが現状です。治水対策の面から適正な流下能力を確保することは重要であり、河川内の樹木伐採等の監視については市内他の河川調査結果を踏まえ、緊急性を考慮するなか対応をしていきます。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	宮の谷川の川岸につき、主に大木伐採につきまして、令和2年3月末を目途に対応しています。
4	東つつじヶ丘	中矢田・篠線における (1)安全施設の設置について (2)通行車両規制について	亀岡警察署交通課からは、幹線道路として整備されており、2車線道路で両側歩行や柵の設置等も整備されていることから、大型車両の通行規制は難しいと回答を得ています。しかしながら、地元からの規制や安全対策要望を警察署に提出していただければ、市としても実施されるよう警察の交通課へ働きかけを行っていきます。市民参加型の亀岡セーフティドライバープロジェクトを進めており、基本マナーを守るのももちろん他の方への啓発をしていただける方のご協力を東つつじヶ丘の方にもお願いしたい。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
5	東つつじヶ丘	中矢田・篠線における (1)安全施設の設置について (2)通行車両規制について	当該道路は、路面標示による速度抑制、曲線区間へのガードパイプの設置、点滅信号や歩車分離信号の設置など通学路の安全確保の対策を講じてきましたが、今後においても公安委員会、地元自治会、教育委員会などと連携し対策を検討していきます。今年度学校規模適正化に伴う安全対策として、通学路において全区間にガードパイプの設置を行います。当該道路は、幹線道路としての整備であり、大型車両の通行規制は困難となります。全面的な舗装改良は、市内の随所の舗装、修繕を踏まえ、緊急度、損傷度の高いところから順次進めているところであり、道路パトロール等を通じて適宜応急的に補修を実施していきます。今年度において篠町森地内の舗装工事を予定しておりますが、今後も舗装修繕計画の策定により改良工事を実施していきます。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	市道中矢田篠線の通学路の安全対策として、今年度、篠町森からつつじヶ丘小学校までの区間において、ガードパイプの設置を行っております。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	東つつじヶ丘	中矢田・篠線における (1)安全施設の設置について (2)通行車両規制について	市道中矢田篠線は、学校規模適正化に伴う校区変更により、つつじヶ丘小学校への通学路となることから、保護者、市の道路担当部署、教育委員会と通学路を歩き現地確認を行いました。その中で、皆さんからいただいた意見をもとに安全対策の協議を重ね、今後も引き続き、ソフト、ハードの両面から通学路の安全対策を進めていきます。	教育部長	②実施予定	道路管理者において工事了りしていただきました。
7	東つつじヶ丘	8区～7区(曙台4丁目～3丁目) 農業用水路の整備について	当該農業用水路については、受益者の篠町土地改良区の広田農家組合へ管理をお願いしています。 土地改良区の高齢化や会員の減少により、地域の方への負担が大きくなり申し訳ない形であります。こん談事項を受け、農家組合に確認した所、やはり近年当該水路の管理については、地域の方に甘えた形となっております。 広田農家組合として維持管理を行っていく事でありましたが、引き続き地域の方にも安全で行っていただける中で、ご協力いただければと思っております。このことによる負担の低減に繋がる維持管理については、フェンス等による安全対策が行われていることから暗渠化、のり面のコンクリート化の計画はないと確認しております。 現地確認、農家組合とも協議をし農地は減っておりますが、水利権がある以上は農家組合の管理をお願いする事となります。公園との関係や法定外公共物の管理や構造をかえるとなると関係部署と協議を図りたいと考えます。	産業観光部長	⑥その他	農業用水路の管理については、水路管理者に適切な管理を依頼しております。
8	東つつじヶ丘	8区～7区(曙台4丁目～3丁目) 農業用水路の整備について	土地改良区が、農業用水路を管理する事となっている事から水利権が残っておりますので、今後の方向性の整理(廃止を含め)を土地改良区が行わなければ、行政としては行えないのが現状ですので、土地改良区と協議を行いたいと思っております。 開発公園は、地元の公園ですので市も補助(1/2)を出しておりますので、危険であれば現状触らずとし、具体的な方向性を出して自治会を通じて地元と連絡を行います。	市長 (産業観光部)	⑥その他	農業用水路の管理については、水路管理者に適切な管理を依頼しております。
9	東つつじヶ丘	東つつじヶ丘地域における広田平松線「ふるさとバス」運行について	東つつじヶ丘市内の徒歩圏内の中矢田篠線には、バス停3ヶ所、市道南つつじヶ丘1号線には、大葉台1丁目、2丁目の2ヶ所含めると、5ヶ所のバス停があり、亀岡駅、馬堀駅方面へのバスが運行されており、東西交通として、国道9号にも2ヶ所、徒歩圏内に7ヶ所のバス停があり、交通空白地帯ではないと考えております。 提案の「広田平松線」のバス運行は、一定の徒歩圏内にバス停があり、経費や運転手不足等があり実現には多くの課題を考えます。 高齢化社会の中においては、どの地域でも同様の問題とは考えています。助け合いの「地域主体型交通」の導入についても検討をお願いしているところです。	まちづくり推進部長	⑤困難 ⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
10	東つつじヶ丘	東つつじヶ丘地域における広田平松線「ふるさとバス」運行について	京都京阪交通と相談し、南つつじから曙台を通り馬堀駅へ通るルートが可能かどうかの相談は行いたいと思っております。 しかし、他の地域と比べると、まだ条件は良いと考えます。例えば本梅、畑野町は、地域交通を行わないといけないと考えており、自治会を中心にオンデマンド交通をしていかなければ、京阪京都交通を走らせても空気を運ぶそんな状況であります。まだまだ東つつじヶ丘は状況は良いのですが、高齢化の中で、課題がある認識はいたしました。	市長 (まちづくり推進部)	④要望	こん談会での回答のとおりです。